

館山市財務会計システム更改業務提案評価基準

A 企画提案書及びプレゼンテーション評価			項目の満点 350点
1	本業務に対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 本市が示した要求仕様等を十分に理解しているか 本業務に対する実績は十分か 導入にあたり、十分な技術と経験を持った技術者で組まれた体制であるか 	各項目 1点～5点
2	提案システムの概要	<ul style="list-style-type: none"> 提案するシステムのコンセプトや特徴が、わかりやすく説明されているか 公会計機能や資産管理機能を一体的かつ効率的に使用できるか 既存システムからのデータ移行がスムーズかつ安全に行える計画となっているか 	
3	システムの構成	<ul style="list-style-type: none"> システム全体像が分かりやすく、予算編成や予算執行を根幹としてシステムの総合的な充実度を満たしているか システム稼働に必要な機器や環境条件が明らかになっているか 	
4	システムの安全性	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ対策について具体的かつ的確な提案であるか データのバックアップは適正に行われるとみられるか 障害発生時でも業務への影響を最小限にする体制であるか 	
5	システムの運用及び保守	<ul style="list-style-type: none"> 導入時及び稼働後における保守及びサポートの提供が迅速かつ十分に行われるか 法改正や組織改編などによる改修への対応方法や費用の考え方が適切か 	
6	システムの拡張性、将来性	<ul style="list-style-type: none"> カスタマイズへの柔軟な対応が可能なシステムになっており、原則カスタマイズは無償対応できるか バージョンアップへの対応は十分か 次期システム更新時（5年使用後）のデータ移行は、汎用的なデータ形式で全件分のデータ出力が可能か 	
7	操作マニュアル及び職員研修	<ul style="list-style-type: none"> 新しいシステムの操作方法や教育に関する研修計画があるか 職員研修等に必要なお操作マニュアルの提供があるか 	

8	既存の他システムとの連携	<ul style="list-style-type: none"> 人事給与システムや公共料金振込システム等，他のシステムとの連携について，効果的かつ適切な対応が行えるか 	
9	システムの操作性	<ul style="list-style-type: none"> 画面が見やすく，機能や操作がわかりやすいものであるか 事務の効率化や迅速化，正確性の向上に期待でき，当市の財務会計に係る事務処理にとって有効であるか ユーザー数を考慮し，本市の業務量に十分対応できるか 	
10	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 要点がまとめられ，わかりやすい言葉で表現されているか 本業務に積極的に取り組む姿勢が伺えるか 質問に対する応答が明快かつ迅速であるか 	
<p>※ A1～10については，各委員が5段階評価により50点満点で評価し，委員7名分の合計点数（50点×7名＝350点満点）を当該事業者の評点数とする。</p>			
B	システム機能の評価	<p>財務会計システム機能要件仕様書の記載項目の対応により得点化する。</p> <p>配点×(○回答数/全項目数×1.0)+ 配点×(△回答数/全項目数×0.5)（小数点第3位を四捨五入）</p> <p>※有償カスタマイズの場合は，契約上限額に含めるものとする。ただし，「機能要件書（参考）」の各項目については，採点には含めないこととし，またカスタマイズが有償であっても契約上限額には含めないこととする。</p>	0点～ 350点
C	価格の評価（経費の安いものから評価）	<p>最も提案金額が低い団体（a）を300点とする。</p> <p>他の団体は，下記の数式により得点を算出する。</p> <p>（aの金額/当該団体の金額）×配点（小数点第3位を四捨五入）</p>	0点～ 300点
<p>※ B及びCについては，対応の可否，価格等の序列により評点が決まるもので，あらかじめ事務局が評価点を算出し，評価シートに記入して委員に配付する。</p>			
<p>評価点合計 1,000点</p>			

※ C「価格の評価」を除く，A「企画提案書及びプレゼンテーション評価」及びB「システム機能の評価」の評価点の合計が420点（平均的な内容）未満の事業者は，失格とする。